

# えがおつながる若者新聞

人とつながる 笑顔がつながる  
明日とリンクする アストリンクです

特定非営利活動法人  
若年者社会参加支援普及協会  
アストリンク

〒305-0051 つくば市二の宮 1-2-2  
Tel/Fax: 029-859-8606 携帯: 080-1018-7670  
http://wssi.or.jp Email: info@wssi.or.jp

## 不登校・ひきこもり・ニート問題 支援機関の連携進む

ひきこもりの若者の数として、内閣府の調査では全国に約70万人いるという結果が出ており、更には、厚生労働省の研究班によると全国の世帯の少なくとも0.5%が一人以上のひきこもり状態の子供を持つとされる。これを単純に人口で割ると茨城県では、少なくとも1万6千人以上、5千500世帯以上となる計算だ。全国調査を基にした推算に過ぎないが、茨城県だけひきこもりの若者が少ないとは考えにくい。



この様にひきこもりが社会現象になってきている現在、その対処をひきこもり当人及び家族だけに押し付けることに無理がある。当人・家族・社会のそれぞれが出来る事を模索して行動していく事が必要な時を迎えていると言えるだろう。

不登校・ひきこもり状態の当人が苦しみ、誰にも言えない悩みを抱えているのはもちろんの事、その家族も、悩み苦しみ知人など誰にも相談出来ないことも多い。中には、家族も職場等での交流が少なくなったり、仕事や家事に支障が出たりするケースも少なくないのである。

この様にひきこもりが社会現象になってきている現在、その対処をひきこもり当人及び家族だけに押し付けることに無理がある。当人・家族・社会のそれぞれが出来る事を模索して行動していく事が必要な時を迎えていると言えるだろう。

## アストリンク

若年者社会参加支援普及協会アストリンクは、不登校・ひきこもり・ニート問題にマクロな視野に立った大きな連携と活動で対処する必要性を考え、いくつかの支援団体と個人が集まり設立された法人である。NPO法人や行政ボランティアなどのネットワーク作りや居場所などの受け皿づくりをしたり、どこに相談して良いか分からない方のための無料電話相談や有料で

## 家から社会へ

アストリンクでは、より社会参加へ進むためのキーポイントを次の三つと考えていて、これらのバランスを考えることが重要であると捉えている。

- ① 勉強、就労、コミュニケーション能力のアップ
- ② 楽しむこと、それを共有することの経験
- ③ 人の役に立つこと、人が喜んでくれることに喜びを感じる

①は、分かりやすいので、周りも当事者も気づいているだろう。しかし、①に偏りすぎて、余計に苦しくなってしまう悪循環に陥りやすい。そして常識的に考えると、①ができていない、つまり義務が果たせていないのに遊んではいけないと、②が出来なくなる。また、自分のことができていないのに、他人にかまっている暇はないだろうと、③が出来なくなっていく。

ただでさえ苦しい状況の中、さらに苦しい道を強いては、さらに動けなくなる。中には、自分がやりたいことを考えることさえもいけないと思ひ込んでいる不登校・ひきこもり・ニートの当事者もいる。家族、社会もその様に信じ込んでいる場合があるが、この悪循環から抜けなければいけない。時には、苦しむことも大切だが、それ以上に楽しむことや喜ぶことが動くことへの大きなモチベーションになるであろう。

## ボランティアの声

アストリンクと関わりは平成24年5月からです。ボランティアに興味があり、当時友人がつくばに居るといふことで、インターネットで「つくば ボランティア」を検索してみました。そこでアストリンクのことを知り、つくばを訪れて話を聞いてみると、私のボランティアに対するイメージが変わりました。

ボランティアとは、その場で誰かのために何かをして自分自身が笑顔になるのを見て自分も満足感を得る、そんな活動だと思っていました。しかし、アストリンクの活動は、短期的ではなく長期的な視点で考えて欲しいという話を聞き、長い期間でアストリンクに関わっていくことでこの先のアストリンクを見てみたいと思えました。

私自身は、多くの経験から多くの「学び」を得ることが出来ました。アストリンクで学んだ中で大きなものは、物事を長期的に見る視点です。何事もすぐ判断してはいけない、続けることに何か意味がある。それを常に感じながら、これからもアストリンクに関わっていきたくです。

連携団体紹介  
次ページから

(アストリンク会員・古屋宏樹)